

The Second Annual English Presentation Contest 実施要項



OIHF HP

1. 主催

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団 (OIHF)

2. 後援

外務省
カナダ大使館
オーストラリアビクトリア州政府
在沖米国総領事館
独立行政法人国際協力機構沖縄センター
公益財団法人日本国際連合協会
学校法人沖縄科学技術大学院大学学園
一般財団法人りゅうぎん国際化振興財団

(順不同)

3. 開催趣旨

日本の教育における ICT の活用は、OECD 諸国の中でも最下位であると言われ、また学生のプレゼンテーション能力も低いランクにあります。本コンテストを通じて、英語力だけでなく ICT の活用やプレゼンテーション能力の向上を図り、多角的な視野をもって論理的な独創性や批判的思考力を涵養することを目指します。

4. 開催日時 2023年10月28日(土) 13:00~16:00

5. 開催場所 沖縄科学技術大学院大学 (沖縄県国頭郡恩納村谷茶 1919 番地 1)

6. 応募資格

県内に在住し、学校教育法で定める中学・高校・大学・大学院・短期大学・専門学校に在籍する方 (海外からの留学生を含む) とします。

なお、参加者本人が英語を母語とする場合は参加対象外となります。

7. プレゼンテーションについて

(1) 使用言語

使用言語は質疑応答を含め全て英語とします。内容やタイトルは自由に設定することができますが、身近にある問題を提起しその解決方法を提示する問題解決型の発表とします。

(2) 発表の条件

発表の際は必ずパワーポイントを使用して下さい。発表中は原稿を参照しないことを前提とします。(原稿を参照したと判断された場合、減点の対象となります)

(3) 制限時間

5分以上6分以内とします。発表時間が不足または超過した場合、1分以内は総合得点から10点の減点とし、1分を超過した場合、失格とします。

(4) 質疑応答

プレゼンテーションとは別に、審査員による4分間の質疑応答を実施します。

(5) 使用機器

プレゼンテーションに用いる PC 等の機器は、主催者が準備します。ただし、Microsoft PowerPoint 以外のソフトで発表を希望する方は、ご自身の PC を持参し事前に会場で動作確認をお願いします。パソコン画面の投影は、会場に設置されたプロジェクタを使用して下さい。

8. プレゼンテーションのテーマ

プレゼンテーションのテーマは、次の中から 1 つ選択肢し、身近にある問題を提起しつつその解決方法を提示する問題解決型として発表して下さい。

a. あらゆるデータやデジタルサービスを活かせ！未来を見据えた DX サービスを提案
<p>スイスにある国際経営開発研究所（IMD）がまとめた「世界デジタル競争力ランキング 2022」によると日本は 29 位で、先進国の中でデジタル後進国に位置づけられました。</p> <p>一方、超高齢化、労働人口減少、過疎化、社会保障費の増大、社会インフラの老朽化など日本は、DX（デジタル・トランスフォーメーション）を活性化させ、これらの課題を解決することが求められます。</p> <p>そこで、データやアプリ、デジタル技術の開発により、人々の生活向上や課題解決に資する DX を活用したサービスを自由に提案して下さい。社会インフラ・防災・小売・物流・公共サービスなど産業や分野は問いません。「官民の連携」や「企業や地域との協働」などあらゆる産業をまたいだ DX の活用を多角的に考察し、利便性があり利用者のモチベーションを高めるユニークなアイデアを期待します。</p>
b. 誰もが住みやすいまちづくりに向けて！ダイバーシティ社会の実現を目指す取り組みを提案
<p>世界経済フォーラム World Economic Forum（WEF）がまとめた“Global Gender Gap Report 2022”によれば、日本のジェンダー・ギャップ指数は、146 ヶ国中 116 位で、先進国において最低レベルの結果となりました。男女による格差だけでなく、LGBT をはじめとする多様なセクシャルティへの対応が求められていますが、セクシャルマイノリティに対する差別的な意見や偏見を持つ人々も少なくなく、配慮の欠如も社会問題となっています。</p> <p>そのような中、日本がダイバーシティ社会を実現するために必要とされる取り組みを自由に提案して下さい。生活の中の身近な事象を取り上げ、一人でも多くの人が参画しやすく効果が期待でき、興味がない人も参加しやすい仕掛けも盛り込んで下さい。</p>
c. リスクをメリットへ！学校では教えてくれないネットリテラシー教育を提案
<p>現代での生活において今や必需品となったスマートフォン。世界中の情報が瞬時に得られる、会ったことがない人同士でも友達になれる、自分の意見を手軽に発信できて共感を得られるなど、便利になったことを挙げればきりがありません。</p> <p>しかしその反面、個人情報の盗難、デマの拡散リスク、また SNS などでは、論理的な長文の母国語を理解できない人が増えているなどとも言われています。そこで、あなたの考える「学校では教えてくれないネットリテラシー教育」を提案してください。</p>

9 参加申込

- (1) 申請受付期間中に OIHF 国際交流課ホームページ (<https://kokusai.oihf.or.jp>)内にある所定のオンラインフォームに必要事項を入力し、概要を確認することができるプレゼンテーションコンセプト（書式自由）とプログラム用スナップ写真を別途、電子メールにより kokusai@oihf.or.jp へ提出して下さい。
- (2) スナップ写真は JPEG で提出して下さい。
- (3) 参加申込の受付は、**2023 年 9 月 30 日（土）**までとします。

10 出場者数 10名程度とします。応募者数が大幅に超過する場合、主催者において本大会出場者を決める書類審査を実施します。

11 審査員 学識経験者等 5名以内

12 審査基準 内容・構成（40点）・口頭発表力・説得力（30点）・質疑応答（30点）の満点100

13 表彰

最優秀賞	賞状・ブロンズ・VISA ギフトカード 3万円分
優秀賞	賞状・ブロンズ・VISA ギフトカード 2万円分
優良賞	賞状・ブロンズ・VISA ギフトカード 1万円分
審査員特別賞	賞状・ブロンズ・VISA ギフトカード 5千円分

14. その他

- (1) 出場者には、自宅から会場間の交通費相当分として Quo カード（1,000 円分）を支給します。
- (2) 発表順は、主催者の抽選により決定します。
- (3) 本大会におけるプレゼンテーションの著作権は（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団に帰属します。
- (4) 個人情報は本コンテスト実施目的のために使用します。また、出場者の氏名、国籍、所属、写真、プレゼンテーションの内容等は、フェイスブックや大会プログラム、宣伝、広報誌等にて公表します。

15. お問い合わせ先

（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課 葛（かつら）豊島（とよしま）

住所：沖縄県宜野湾市伊佐 4 丁目 2 番 16 号

TEL : (098) 942-9215 E-mail: kokusai@oihf.or.jp HP: <https://kokusai.oihf.or.jp>